

つるせ西だより



～今月の特集～
時代の節目に想うこと

第142号(5月号)2019. 5. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 12

青空にはためく武者のぼり

いろいろな理由から「こいのぼり」を飾る家が少なくなった昨今ですが、我が家では、状況を考慮し、孫たちのために「武者のぼり」を立てています。

武者のぼりとは、のぼり旗に、戦国武将や鯉、竜、桃太郎、金太郎など昔の英雄などと家紋が描かれている旗で、地域によっては「武者絵のぼり」「絵のぼり」「五月旗」「節句旗」などいろいろな呼びかたがあるようです。

中国から日本に伝わった端午の節句は、鎌倉時代ごろから男子の節句とされ、健やかな成長を祝い、健康を祈る日になりました。その後、江戸時代になり、戦国武将にあやかっつて、健やかに大きく育つことを願う「武者のぼり」が誕生。多くの人々に親しまれた日本の伝統文化となったそうです。

旗の下に、猛将が床几に腰かけ悠然と構えているような戦国絵巻を感じさせてくれます。

(撮影・文/堀口編集委員)



駅前大通りがにぎやかに(鶴馬)

駅前大通り(鶴瀬西通り線)の、駅に向かって左側にお店が開店しました。一軒はコインランドリー、もう二軒は開店待ちで、気軽に利用できるお店ができると、にぎやかになっていいなと待ち遠しく感じます。

その先のビルではタイ

まちかどウォッチング

まちの話題

入学おめでとう!

4月8日(月)は、富士見市立の小・中・特別支援学校にて、いっせいに入学式が行われました。

関沢小学校では94人、つるせ台小学校では126人の新入生を迎えました。

ルの外壁面に大きな絵を張り付けていました。たくさん家族や動物たちを描き、子どもたちの笑顔があふれてくるような幸せな絵です。

新しいお店が増え、街角に心とむ壁画が貼られ、花壇の花が植えられ、ただ歩くだけの道でなく、立ち止まりながら歩くような街並みになってゆくと良いなと思います。

(吉田)